

永井道雄 （幼少） 教育社會學者。大正十一年二月四日東京生れ、平成十一年二月十七日歿（一九三二—二〇〇〇）。政治家永井柳太郎の長男。昭和十九年京都帝國大學文學部哲學科卒。二十七年アメリカ、オハイオ州立大學大学院修了。京大助教授、東京工業大學教授、『朝日新聞』論説委員等を経、四十九年文相。うち上智大學教授、國連大學長特別顧問。

著書『文部省と白教組』（昭和二十二年九月十五日中央公論社）、『週刊誌—その新しい知識形態』（合著・週刊誌研究会編、昭和二十二年十一月二十日二一書房「二一新書」）、『わが家の教育基本法』（合著・日本経済新聞婦人家庭部編、昭和二十八年九月二十一日日本経済新聞社）、『人物再発見』（合著・読売新聞社編、昭和四十年七月十五日人物往来社）、『異色の人間像』（昭和四十年十一月十六日講談社「講談社現代新書」）、『大学の可能性』（昭和四十四年九月二十日中央公論社）等。



永井道雄  
大学の可能性  
実験大学公社案

大学の可能性  
永井道雄  
吉野作造賞

混迷する大学問題の渦中に初めて具体的に提示された各界注目の「新幹線大学」案

《内容》「大学の可能性—混迷の中に理想を 自由とは何か—海外から回復へ」大学政策の不在—実験大学公社案 目次—ロッキの大学改革案対談—マルティンサシイティ建設の体験—クラーク・カーに聞く IV「大学公社」案の提唱 V新大学都市構想—計画'69A

中央公論社 ¥500